

## 管理運営評価シート(令和4年度)

施設名称	朝日みどりの里他7施設	評価対象年度	令和 4 年度
指定管理者名	株式会社まほろば	所管課	観光 課
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)	評価者(課長)	田中 章穂

## 1 令和4年度の実績

## (1)事業実績

利用実績	利用者数 405,210人
サービス向上の取組	地域産品の消費拡大、地場産業の振興、市民の健康増進等を目的として、施設の適正な維持管理を行い、利用者の安全に配慮するとともに、満足度を高めるサービスの提供に取り組んだ。

## (2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (2年度)	前年度 (3年度)	当該年度 (4年度)	合計	備考
収入	指定管理料	57,437	52,040	26,519	135,996	基本協定額: 158,678 千円
	利用料金	86,710	98,304	118,873	303,887	
	事業収入	75,371	80,701	107,393	263,465	
	自主事業収入	13,164	14,779	15,362	43,305	
	その他	10,796	4,886	0	15,682	
	収入合計 ①	243,478	250,710	268,147	762,335	
支出	人件費	80,776	85,513	89,140	255,429	
	福利厚生費	15,254	13,828	13,168	42,250	
	事務費	13,591	13,454	12,442	39,487	
	管理費	65,065	70,668	87,009	222,742	
	水道光熱費	32,926	41,875	54,295	129,096	
	修繕料	7,124	7,127	8,506	22,757	
	使用料・リース料	2,251	2,140	2,438	6,829	
	手数料・保険料	3,707	4,764	5,564	14,035	
	委託料	19,057	14,762	16,206	50,025	
	事業費	37,743	43,160	50,902	131,805	
	自主事業経費	8,416	9,330	7,257	25,003	
	その他	25,171	15,031	15,970	56,172	
	支出合計 ②	246,016	250,984	275,888	772,888	
収支差額(①-②)	▲ 2,538	▲ 274	▲ 7,741	▲ 10,553		

## 2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある -:該当なし

### 3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

<b>(1) 指定管理業務実施上の課題</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・人材不足、スタッフ・生産者の高齢化。</li><li>・諸物価高騰による経費の増大。</li><li>・事業者の後継者不足やコロナ禍での廃業などによる品物不足。</li><li>・施設の老朽化に伴う業務効率の低下。</li></ul>
<b>(2) 課題解決に向けた取組</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・若手職員の育成、職場環境の改善。</li><li>・各施設における節約の徹底。</li><li>・商品確保のため商談会の参加、事業者への出品促進。</li><li>・業務の見直し。</li></ul>
<b>(3) その他</b>
<b>①利用者からの主な意見や苦情、対応策</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・敷地内が夜になると暗い → 必要と思われる個所に照明器具を設置した。</li><li>・コロナに関する施設の利用制限が多い → 事情を説明し、利用者に理解を求めた。</li></ul>
<b>②その他</b>
特になし

### 4 全体的な評価

<b>(1) 指定管理者の評価</b>
コロナの影響が少しずつ弱まる中で売上維持に努めながら、施設利用等についても慎重に判断してきた。結果としては、大きなトラブルや事故を招くことなく、おおむね計画通りの運営管理ができた。
<b>(2) 施設所管課の評価</b>
コロナ禍の影響が少なからず残る中、施設を適正に管理し、イベントの開催や道の駅間の連携を活かした取り組みを行った。また、宿泊客の食堂での夕食利用が定着してきたことは、宿泊プランの形成やPRの効果が表れたものと評価する。
<b>(3) 次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)</b>
引き続き、適正な施設管理を行い、積極的な事業展開に取り組み、利用者の立場に立ったおもてなしや満足度の高いサービス提供に努めていただきたい。